

OBインタビュー

2010年度 工学部第一部 経営工学科 卒業生 梅原啓佑

大手メーカー勤務

近年、不景気の煽りを受け、就職が決まらずに苦勞している学生が多くみられる。就職活動の情報を早い時期から集めて、少しでも他の学生と差をつけたいと思っている学生もいることだろう。そこで今回、就職活動を経験して企業から内定をもらった、本学のOBである梅原啓佑さんに話を伺った。

Q 就職活動を意識し始めた時期はいつですか。
A 当時は就職活動が始まるのが10月からということもあり、意識し始めたのはインターンが始まる3年生の8、9月頃からでした。また、就職サイト等の広報活動や大学内の企業説明会等が行われるようになり、周りも就活を意識しだしました。

Q 大学院への進学は考えましたか。
A 当時は早く社会に出たかったので特には考えませんでした。大学院で2年間過ごすよりも、社会に出て2年間過ごした方が、仕事面は勿論のこと人としてもより成長出来るのではないかと考えています。もちろん、純粋にもう勉強したくなかったということもありましたが、しかし今になって考えてみると、大学院進学というのも選択肢としてとても魅力的だと思います。大学院での研究では、目的の

成果を得るために、自分の頭で考え、物事を順序立てて研究を進めて行くと思いますが、この「物事を順序立てて考える」というのは仕事をする上では非常に重要な基礎になります。こうした基礎力を訓練出来ることを考えると、大学院に進学する利点は大きいにあると思います。

Q 学生時代にもっと取り組めば良かったと思うことは何ですか。
A 遊んでばかりいないで、もっと勉強にしっかりと取り組めば良かったと後悔しています。特に英語は、TOEICの点数が昇任の条件になる会社も多いと聞きますし、企業界に共通して必要になるので、勉強しておいた方がいいと思います。

Q 2012年度卒業生対象の就職活動が12月からに変更したことについてどう思いますか。
A 10月から就職活動を始めた自分にとっては、これは少しかわいそうに感じました。社会を見る時間が2ヶ月間減るという事は、選択肢を広げる時間が減るといえます。就職活動は今後の人生を決める上でとても重要です。社会に出てしまおうと、他の企業の情報を調べることは難しいので、就職活動時にいろいろな企業を見ることで視野を広げてほしいと思います。

Q 自己PRのポイントを教えてください。
A 一次面接や二次面接の際に企業が求める人物像を与えるよりも、実際に働いている現場の人に、「この人と働きたい」と思ってもらえるようなPRをする事が一番重要です。私は説明会や現場社員との交流会の場では、必ず「御社の実際に現場で活躍している人たちに共通するポイントは何ですか」という質問を行います。そこから自分の強みになる部分を考えていきます。あからさまに自分と違う人物像だと、面接でよくボロが出てしまうので、いくつか聞いた中で、自分に共通しているものを見つけて、それにつながる学生時代のエピソードを探すことは面接で有利になると思います。

Q ESを書く上で注意したことはありますか。
A 志望理由と自己PRとで話の軸が違わないように、一貫性を持たせて書く事は気を付けていました。面接での回答とESで書いたことが違ってしまう印象を与えてしまうので、そこには注意しなければいけません。また志望理由を考へる際も、自分の学生時代にやっていた内容と関連性を持たせることで、人事担当

Q 面接ではどのようなことを聞かれましたか。
A 面接ではインターネットに載っているような、奇抜な質問はされませんでした。志望理由と学生時代頑張ってきた事という二つは毎回聞かれました。基本的にはESの内容とほとんど一緒の回答をしていきますが、先ほども言ったように、自分の考えに一貫性を持たせることが大切です。

Q 入社前と入社後のギャップはありましたか。
A 就職前に想像していた企業の仕事内容と、今やっていることの内容が多少違うというギャップがありました。就職活動で仕入れる情報は、企業が一番得意としている事業や、就職活動生への印象が良い事業である場合が多いと思います。実際の仕事というのはホームページなどでアピールしているの他に、それを陰で支える地道な業務も多かったりするので、ギャップを抱えることもあるだろうと思います。

Q 入社後のギャップを無くすためにはどうすればいいですか。
A 説明会だけでは会社のすべてを知れるとは限らないので、OB・OG訪問など実際に職場で働いている人に雰囲気や働くことはすごく有効だと思っています。一つの企業でもいろいろな部署があつて、様々な仕事があるので、OB・OG訪問も1回だけではなく、他の部署の人を紹介してもらっていくことが大事だと思います。

Q 仕事で大変なことは何ですか。
A 今日任せられた仕事の納期が、明日までと言われることがあり、それを間に合わせるが大変です。間に合わせるには、色々な業務を並行しながらも優先順位をつけていくことが大切です。それが今重要なのか、またその最優先の仕事なのかに効率よく短期間でこなすかという事を常に考えています。学生のときから、だから研究するのはなく、いつまでにかこま

Q 最後に本学生にアドバイスをお願いします。
A 後悔だけはしないよう就職活動をして欲しいです。最後は1年間なので、研究などで忙しいとは思いますが、遊びもぬかりなくやってください。

だと思えます。
Q 入社前と入社後のギャップはありましたか。
A 就職前に想像していた企業の仕事内容と、今やっていることの内容が多少違うというギャップがありました。就職活動で仕入れる情報は、企業が一番得意としている事業や、就職活動生への印象が良い事業である場合が多いと思います。実際の仕事というのはホームページなどでアピールしているの他に、それを陰で支える地道な業務も多かったりするので、ギャップを抱えることもあるだろうと思います。

Q 入社前と入社後のギャップはありましたか。
A 就職前に想像していた企業の仕事内容と、今やっていることの内容が多少違うというギャップがありました。就職活動で仕入れる情報は、企業が一番得意としている事業や、就職活動生への印象が良い事業である場合が多いと思います。実際の仕事というのはホームページなどでアピールしているの他に、それを陰で支える地道な業務も多かったりするので、ギャップを抱えることもあるだろうと思います。

Q 入社前と入社後のギャップはありましたか。
A 就職前に想像していた企業の仕事内容と、今やっていることの内容が多少違うというギャップがありました。就職活動で仕入れる情報は、企業が一番得意としている事業や、就職活動生への印象が良い事業である場合が多いと思います。実際の仕事というのはホームページなどでアピールしているの他に、それを陰で支える地道な業務も多かったりするので、ギャップを抱えることもあるだろうと思います。

Q 入社前と入社後のギャップはありましたか。
A 就職前に想像していた企業の仕事内容と、今やっていることの内容が多少違うというギャップがありました。就職活動で仕入れる情報は、企業が一番得意としている事業や、就職活動生への印象が良い事業である場合が多いと思います。実際の仕事というのはホームページなどでアピールしているの他に、それを陰で支える地道な業務も多かったりするので、ギャップを抱えることもあるだろうと思います。



▲取材に協力していただいた梅原さん

SPI3

無料

開発部が作った Webテストを受検できるのは リクナビ だけ!

RECRUIT

SPI開発部がリクナビのために作成したオリジナルの問題にチャレンジ! 結果画面には、点数が表示されるので、自分の得意、苦手分野をチェックすることができます。

言語・非言語Webテスト

【開催日程】
第2回 10/1 ~ 11/30未明
第3回 12/1 ~ 2014年3月予定

就活準備のための お役立ちコンテンツが満載!

リクナビ2014 検索

<http://job.rikunabi.com/2014/>

※本番の受検内容と全く同じ問題ではありません。